

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號一第 卷四第

行發日一月一年六正大

論說

官業問題ニ就キテ(一).....

法學博士

神戶 正雄

體質廢頽問題(二).....

法學博士

財部 靜治

戰時ノ我輸出品ノ粗製造濫造(二完).....

法學博士

戸田 海市

消費ニ關スル學說ノ發達(一).....

.....

瀧本 誠一

經濟心理學ノ組織的研究(一).....

.....

米田庄太郎

米券倉庫ヲ論ス(二完).....

法學士

河田 嗣郎

雜錄

賤民名稱考.....

文學博士

新村 出

女ニ子ヲ生マス政策.....

.....

米田庄太郎

原始亂婚ニ就イテ.....

文學士

高田 保馬

寶曆ノ豫算.....

法學士

本庄榮治郎

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二完).....

.....

山本美越乃

經濟雜話(七).....

法學博士

田島 錦治

戰後ニ對スル二大準備.....

法學士

河田 嗣郎

新著紹介及ビ寄贈書目

新著紹介

●最近社會政策

菊版七六頁、貳圓
東京、有斐閣書房

本書ハ東京帝國大學教授法學博士金井延先生ノ在職二十五年ヲ記念セムガ爲メニ博士ノ同學及ビ門下ノ諸學者ノ最近社會政策ニ關スル多數ノ論文ヲ集メテ刊行シタモノテ凡ソ三十頁平均ノ論文二十四編ヨリ成リ、就中二三者ヲ除クノ外ハ社會政策ニ關係アルモノノミデアアル。而シテ各論文トモ皆研究ノ結果ニ成ツタモノデア、社會政策ニ關スル各方面ノ議論ヲ事實ヲ一纏ニシテ窺ヒ知ルニハ最も重寶ナモノデアアル。當ニ能ク金井教授ノ在職ヲ記念スルニ適當ナルモノタルノミナラズ、實ニ又以テ博士ガ我國ニ於ケル社會政策ノ思想學說及ビ實施ノ爲メニ永年盡粹セラレタル功勞ヲ記念スルニ足リ、更ニハ又我國ノ社會政策ニ關スル研究上ノ記錄ヲ留ムル意味ニ於テ價値アルモノト云ハネバナラヌ。(河田)

商學士納富雅友、大石武共著

●死亡生殘表ノ研究

菊判二三三頁、貳圓五拾錢
東京、丸善株式會社

死亡生殘表ノ原理ハ生命保險數學ノ基礎ナリ、從ヒテ生命保險事業ニ從事セントスルモノ并ニ保險理論ノ研究者ニトリテハ實ニ缺ク可カラザル知識ナルニモ拘ハラズ、從來之ニ關スル著書論文ノ數ハ甚ダ乏シク、(吾人ノ寡聞ヲ以テスレバ、關伊右衛門氏著最近生命保險數學、龜田豐治朗氏本邦死亡率推移日本社會

學院年報第二年第三四五册、瀧本美夫氏死亡秩序及生存豫想年數統計集誌第三百二十七號等ノ數者ニ過ギズ)殊ニ之ヲ中心問題トナシテ組織的論述ヲナシタルモノニ至リテハ絶無ナリト云ヒ得可ベカリキ。コレ保險ノ研究者并ニ其實務ニ從事スルモノニトリテハ最大ナル不便ノ一ナリシナリ。今商學士納富雅友氏大石武氏共著死亡生殘表ノ研究ハ正ニ此缺陷ヲ補ハントスルモノ、我學問ノ發達上頗ル慶賀ス可キ一事タルヲ疑ハズ。元來此方面ノ研究ノ趣味乏シキガ上ニ數理上ノ素養ヲ要スル事ハ思フニ之ニ手ヲ着クルモノ乏シカリシ所以ナラン、然ルニ營テ經濟學商業學ヲ專攻シタル著者ノ手ニヨリテ此著書ノ完成ヲ見タル事ハ特ニ多トセザル可カラザルモノアルナリ。

本書章ヲ分ツ事六、第一章乃至第四章ハ死亡生殘表ノ意義性質種類沿革材料ヲ説キ第五章ニ於テ中心部分タル死亡生殘表ノ調整ヲ論シ第六章ニ於テハ死亡生殘表ノ比較ヲ述ベタリ。而シテ當然ノ事トシテ著者ノ努力ノ最も傾注セラレシ所ハ第五章ノ調整ノ說明ニアリ、從來諸家ノ研究ヲ綜合シ集成シテ且ツ其敘述ナル可ク平明ナラン事ナ力メタル點ニ最も價値ヲ認ム可キモノ勿論カカカル至難ノ方面ニ於テ著者ノ創見ヲ期待セントスルガ如キハ尙研究中ニアアル「學者ノミ」ト告白セル著者ニ對シテ甚ダ過酷ノ要求タルハ自ラ明ナリ。附録トシテ補間法及加合法ノ說明ヲ加ヘタルハ讀者ニトリテ甚ダ懇切ナル態度ナリト云ハザル可カラズ。

要スルニ本書ノ出版ハ明ニ此方法ニ於ケル本邦學界進歩ノ一徵象ト見ルテ得可ク。吾人ハ深ク著者ノ勞ヲ多トスルト共ニ、進

ンテ新ナル研鑽ニヨリ第二第三ノ研究ヲ公ニセラレン事ヲ切望スルモノナリ。(高田)

●戦時及戦後ノ經濟 四六版四六四頁 非賣品 大日本文明協會刊行

今回ノ大戦亂ガ齎セル經濟上ノ變動キヤ之ニ應ズルガ爲メニ出來上ツタ交戰國及ビ中立國ノ經濟狀態ヤ引イテハ戰後ニ來ル可キ經濟事情ノ豫想ヤニ就イテハ、既ニ色々ノ新聞雜誌上ニ諸多ノ人々ニ依ツテ解説ヤ論議ノ行ハレ來ツタ所デアリ、今後モ亦隨分ト種々ノモノガ之ニ關シテ公ニサルルコトデアラウガ、纏ツタ著書トシテ此等ノ問題ヲ取扱フタモノハ、マダ餘リ多ク發行サレテ居ラヌ様デアアル。田尻博士ノ該傳ニシテ正確ナル著述二三者ヲ除イタナラバ、是ト取立テテ云フ可キモノノ目當リ兼ナル次第デアツテ、本書ノ如キハ先ズ推ス可キモノタルヲ失ハヌ。本書ハ大日本文明協會ノ刊行書中ノ一デ、表面ハ服部文四郎氏ガ著述サレタルカニ見ユル様ニ出來テ居ルガ、主トシテ専ラ島谷亮輔氏ノ勞作ノ結果ニ成ツタモノト様ニ聞及ンテ居ル。記述ハ先ヅ既往ニ於ケル歐洲大戦後ガ經濟財政上ニ及ボシタ影響ヨリ始マツテ近年ニ於ケル歐洲列強ノ經濟的發達ヲ叙シ進ムテ直チニ今回ノ大戦ノ爆發當時ニ於ケル經濟界ノ大動亂ト之ニ對シテ諸國ノ施ヒル救済策トナ述ベ斯クテ即チ英獨佛ノ戰時財政策及ビ經濟上ノ施設ヲ説キ進ムテ米國及ビ我國ノ如キ中立國若クハ半中立國ガ戰爭ニ依リテ被レル影響ヲ記述シ進ムテハ更ニ聯合軍側對同盟軍側ノ經濟戰爭ナルモノト戰後ノ經濟ニ於ケル日米ノ地位トヲ論ジタモノデアツテ、戰時ト戰後トニ

於ケル財政經濟ニ關シテ論述サル可キ所ノモノダケハ先ヅ漏ナク取扱ハレテアルト謂フテ可イ。從テ本書ハ戰時經濟ニ關スル材料ヲ得ムト欲スル者又ハ其ノ説明ヲ聞カムトスル者ニハ簡ニシテ要ヲ得タル好參考書トシテ推奨スルニ足ルモノタルヲ疑ハヌ所デアルガ、此上ノ註文ヲ云ヘトナラバ英獨佛米等ノ如キ比較的材料ノ得易イモノ以外ニ、今少シク露西亞トニ關スル財政及ビ經濟上ノ狀態ノ記述ヤ、殊ニハ戰後ノ問題ノ補足トシテ少クトモ我が今後ノ貿易上ノ進路タル可キ英領植民地特ニ印度ヤ濠洲等ニ關スル材料ヲ提供セラルルカ、其他要スルニ今少シク戰後ノ問題ニ力ヲ注ガレタナラバ、或ハ完璧ニ近キモノ然ラザル迄モ參考ニ資スル所更ニ多キモノタルヲ得タコトデアアラウ。然シ之ナキガ爲メニ本書ノ價值ノ減ズル譯デハナク吾人ハ島谷氏ノ勞チ多シトスルモノデアアル。(河田)

工學博士有坂鋸藏著

●兵器沿革圖說(附圖二册附)

四六倍板三〇〇頁附圖三〇八頁、非賣品 東京帝國大學工科大學紀要第七册第一號

本書ハ大古ノ石器青銅器時代ヨリ現代ニ至ル迄ノ兵器ノ發達ノ有様ヲ圖解シテ示シタモノデアアル。著者ノ凡例ニモ之ヲ明カニシテアルガ如ク、説明ヲ簡單ニシ圖畫ヲ多クシテ一目瞭然ニ大古ヨリノ兵器特ニ火兵ノ部ニ屬スルモノノ發達ノ有様ヲ示スニ努メタルモノデアツテ、本文中ニモ已ニ二十六ノ精巧ナル寫眞版其他ノ圖畫ノ挿入サレタルニ加ヘテ、尙ホ附圖トシテ三百餘頁ニ及ブ二册ノ圖畫寫眞等ガ添ヘラレテアル。從テ其道ニ關スル專門ノ智識ナキ者ニモ能ク兵器沿革ノ大體ノ觀念ヲ得セシ

ムルニ足ル頗ル重寶ナモノデアアル。圖説ノ内容ハ古代兵器、火
兵、携帶火兵、彈丸、地雷、裝甲板、火藥及火工品、水雷ノ各
方面ニ涉ツテ居リ、一々説明ト圖解トヲ照シ見ル任組ニナツテ
居ル。兵器ノ問題ハ此度ノ戰爭以來ハ特ニ我國ニ取ツテモ大分
深キ經濟的意義ヲ有スルニ至ツタ次第デアレバ、其ノ技術的ニ
見タル發達ノ有様ヲ知ルヲ得ルハ、大ニ仕合トスル所ト謂フ可
キデアアル。(河田)

商學士松崎壽著

●工業金融論

四六版四一八頁、壹圓參拾錢
東京、隆文館圖書株式會社

近時ニ於ケル我が工業ノ發達ハ工業資金ノ問題ニ關スル特別
ノ研究ナカル可ラザルヲ思ヘシムルニ至ツタ折カラ、著者ガ早
クモ此點ニ氣ガ付イテ、簡單乍ラモ纏ツタ本書ヲ公ニセラルル
ニ至ツタコトハ、太々喜ブ可キ次第デアアル。之ヲ金融一般ノ業
務及ビ金融機關ノ發達ノ上カラ云ヘバ、我國ノ現狀ハ可也好ク
整備シタモノト云ハネバナラヌガ、ソハ併シ乍ラ主トシテ商業
金融ノ方面ニ就イテノ話デアツテ、特殊金融ノ方面ハ決シテ未
ダ十分ナル發達ヲ遂ゲテ居ラヌ。甲ニ在ツテモ農業金融ハ割合
ニ早クヨリ其ノ必要ノ認メラレ其ノ機關モ兎モ角モ全國ニ普及
シテ居ル有様デアルカラ、其ノ機關ガ概シテ半生不隨的ノモノ
デアルトハ云ヘ、工業方面ニ於ケルヨリモ稍々都合好イ狀態ヲ
持テ居ル。然ルニ工業ニ關スル特殊金融ト云フ事ニナレバ、從
來ハ大抵普通ノ商業金融機關ニ依ツテ何ウニカ此ウニカ問ニ合
ハサレテ來タニ過ギヌ有様デアツテ、特殊ノ意義ノ下ニ於ケル

雜錄 寄贈書目

其ノ發達ヲ見ルヲ得ナカツタ。彼ノ農工銀行ノ如キモ名ハ即チ
農工銀行デアアルケレドモ實ハ農業銀行タルニ過ギヌ有様デアリ
其他一般ニ工業企業ニ關スル金融機關ノ備ハラズ資金融通ノ行
ハレ易カラザリシ事ハ、從來我國ニ於ケル大欠典テ、當業者ノ
困難蓋シ鮮少ナラザルモノデアツタ。然シ今ヤ時局ノ爲メニ我
ガ工業企業ハ大々的ニ發展ス可キ機運ヲ迎ヘテ來テ居ル次第デ
モアリ、又從來獨逸ニ於ケル企業ト金融トノ連絡ノ密接親善ナ
リシ事實ガ英國ナドニ依リテモ十分ニ其ノ功果ノ認メラレ之ニ
倣ハントスルノ企ノ實行ニ入りツ、アル狀況デモアレバ、今日
トナツテハ我國ニ於テモ是非トモ購究一番シテ從來ノ欠チ補フ
ノ方法ヲ講ゼナクテハナラヌ次第デアアル。若シ此ノ欠典ガ依然
トシテ持續サルルニ於テハ我が工業企業ハ常ニ大イナル牽制ヲ
此點ニ於テ被リ、十分ナル發展ヲ遂ゲ得ザルノ不幸ヲ見ルデア
ラウ。此時ニ當ツテ本書ノ如キガ世ニ出デ、此ノ方面ニ關ス
ル學界及ビ實際界ノ注意ヲ促スコトハ寔ニ歡迎ス可キ所ト云ハ
ナケレバナラヌ。吾人ハ著者ガ更ニ大イニ此ノ問題ニ就イテ研
鑽ヲ積マレムコトヲ希望スル者デアアル。(河田)

寄贈書目 (大正五年十一月申受領)

北濱ト兜町(島本徳一著)

我が南洋(山崎直方著)

通俗經濟文庫(日本經濟叢書刊行會編)

死亡生殘表之研究(納賀雅友著)
大石 武著

第四卷 (第一號一五一) 一五一

- 信用及擔保貸付論(深登宗助著)
植民原論(永井柳太郎著)
和歌山史要(和歌山市役所編)
帝國南進策(副島八十六著)
係險要錄(大正四年)
南進策卜小笠原群島(山田毅一著)
大戰外交史(長岡春一著)
工業金融論(松崎壽著)
金井教授在職最近社會政策(河津暹編)
二十五年記念(木村房次郎著)
會社法運用(木村房次郎著)
訂正政治汎論(上、下)(高田早苗譯)
會社法講義(松本丞治著)
度量衡要義(上總亨著)
戰爭卜國際法(立作太郎著)
公債要論(田中樞積著)
世界大戰卜日本ノ海運(長岡純一郎著)
第一期水力事業沿革志及附屬圖譜(宇治川電氣會社編)
徳川初期ノ海外貿易家(川島元次郎著)
倉庫及倉庫業(山本五郎編)
時局ニ關スル調査報告(第一回―第八回)(三菱合資會社編)
日本俗諺史(緒方正清著)
近海ノ富源伊豆七島(里見蓮吾著)
戰後ノ經濟政策(早稻田大學編)
日本經濟叢書(日本經濟叢書刊行會編)

- 通俗大學文庫(通俗大學會)
倉庫論(山本行昌著)
兵器沿革圖說及附圖(東京帝國大學工科大學編)
南洋半鑑附與信錄(南洋調查會編)
北海道石炭業概論(小樽高等商業學校編)
同 輸出木林之調査(同右)
國際公法要義(千賀鶴太郎著)
廣告心理學(佐々木十九著)
美術工業論(市川敷造著)
北海道統計書(北海道廳編)
日本經濟叢書(日本經濟叢書刊行會編)
米雜穀肥料要覽(川上鈴舟著)
帝國國難論(國防叢書 第一卷)(衣斐防吉著)
富の北九州(東亞評論社著)
岐阜商工案内(岐阜商業會議所編)
米國研究(教育學術研究會論)
ヘンリーアール經濟原論上卷(堀川美哉譯)
東京模範百工場(同文館雜誌部論)